



ふるさとを元気に発展 ウェルカム21ぎふ 2000年 平成12年1月1日 12月31日



1 2000

岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ創立総会 (記事5頁)



岐阜県
中小企業団体中央会
岐阜市藪田南5丁目14番53号
岐阜県民ふれあい会館12階
毎月15日発行
購読料 年間1,500円(1部125円)
発行人 森本安彦
事務局直通電話
管理調整 〒A058-277-1100(代)
広報振興 〒A 058-277-1101
組織指導 〒A 058-277-1102
調査労働 〒A 058-277-1103
情報企画 〒A 058-277-1104
事務局FAX番号 058-273-3930

主な記事

- 1 社会長新春インタビュー 2
- 2 中央会レディースクラブ・理事会・知事との懇談会 5
- 3 海外駐在員レポート 6
- 4 11月景況調査 7
- 5 美濃焼の新春見本市・県関係部局への陳情など 9
- 6 ウェルカム21ぎふ 3
- 7 二〇〇〇年年賀広告 10
- 8 19



昨年末の中小企業国会において、新中小企業基本法が制定され戦後五十年間わが国の中小企業の政策理念は、格差の是正を中心に置いてきた。これを、多様で活力ある独立した中小企業の育成・発展を新たな政策理念とすべきであるとされた。

チャレンジ精神を發揮

21世紀への飛躍

この基本理念のもと二十一世紀を目前に控え中小企業は大きく飛躍する時を迎えている。

最近の新規開業率は三七%と廃業率三八%を下回っている。

また、失業率が四・五%の現状において特に開業率の低下は、新たな発想や新たな企業経営スタイルを持つて市場に新規参入する企業によってもたらされる経済の活力や、新規創業企業がその相当部分を担っている雇用の創出など、経済の新陳代謝機能の低下が懸念されている。

そこで、中小企業が雇用の受け皿として躍進出来る基礎を構築できるようにするため、国では創業・ベンチャー支援を積極的に打ち出している。

しかし、支援策も必要であるが同業他社との競争に打ち勝つためには、今こそ企業自らが進むべき道を自ら考え新たな製品を開発する気概と努力が求められている時はない。わが国を取り巻く経済的環境が大きく変化している今日、中小企業もこの大きな環境変化を的確に捉え対応しなければ二十一世紀の競争に打ち勝つことはできない。

二十一世紀に飛躍するためにも、新たなチャレンジ精神を發揮して、活路を開かなければならない。県中小企業団体中央会の平成十二年の取り組みとしては、従来の組合設立・管理・運営指導に加え、ソフトピアジャパン・VTRテクノジャパン事業への積極的参加と海外連携事業の推進(海外直結戦略)、「IT技術者」の育成等「IT革命」の取り組み、企業内の情報化、海外連携などの構造改革により生み出した余剰人員をベンチャー事業へチャレンジする企業内ベンチャーの推進、新事業ベンチャービジネスの設立・育成を総合的に支援する「エンタープライズ岐阜」への参画、多角的連携の取り組み以上について重点的に取り組むこととした。

平成十二(二〇〇〇)年 あけましておめでとございませう。中央会は、協力する中央会から提案する中央会へ、と、転換するため昨年の多くの事業を推進してまいりました。その中でも、年末・年始のY2K問題は大きな問題もなく無事にすぎました。年頭にあたり、社会長に「今後の中小企業・組合が取り組む課題」についてインタビューしました。その内容を紹介します。

財政で景気浮揚策を行うのは限界がきた。中小企業国会で、中小企業の範囲が広がった。今までも中小企業の数はいくつだが、九九・七という数字になった。この経済の困難な状況を打開するのは、(財政が限界にきていくとすると)、中小企業自身が経済・構造改革、情報化投資などを進めて、自分(中小企業)自身を変革することによって経済に貢献して行くしかない年である。

中小企業が日本経済を立て直す意気込みを持つ年ではないかと思う。

そのために、一番必要なことは次の三つである。

海外 直結戦略

海外と国内の差が、あまりにも落差がある。欧米の中小企業と比べると一番違うところは、アメリカでも、イギリスでも、多くの国で商売をし、彼らの意

識に境界・国境がない。

これからの日本の中小企業も、自ら知恵を出して実行する単独航海方式で国際社会の荒波を生き抜いていかなければならない時代である。

中央会としても、県やソフピアの事業に参加するとともに海外連携を深めるためヨーロッパへ視察団を派遣したい。

中小企業の三つのキーワード

辻正中央会会長に聞く

自分自身を変革する年

また、岐阜県が行っているユーロ岐阜などを活用。平成十二年十月ごろに、ヨーロッパから五十人ほどの中小企業経営者が来日し、岐阜で懇談会を行う予定になっており、そこに中央会の会員やレディースクラブのメンバーも参加させ、ビジネスマッチングを行っていき

たい。

今まで、なぜ行わなかったかという点、本当に利益に繋がっているかわからなかった。しかも、稟議書が回っても、何百万、何千万円とかかるコンピューターのわからないことに判を押していたという経営者の不満があった。

それを、公平・中立な人材を供給することで、相談相手に乗りましよう。それをやることによって、今までの取引先を変えろとか、何々を買えとかいって、我々の業界も大反対をする。

自身が構造改革・情報化などをすすめる、すべてが政府責任だという考えを修正していかなければならないと提案したい。

企業は困れば困るほどいい知恵がでる。それを政府は、困らないようにしようとし新しい政策を打ち出す、はたして中小企業には本当に良いことなのか。困って知恵を出すチャンスをつぶしているのかもしれない。

企業内ベンチャー

ベンチャーは大いに賛成である。

しかし現在、納税している企業がベンチャー事業に乗り出さない手はない。中央会としては企業内ベンチャーを提言している。

IT(情報)

技術(革命)

通産省が六億円の資金を使って「SSP運動」を展開している。

従来行ってきた、FAX・パソコン・コピーを買ったというスタンダードな型の情報化

を見直し、四十歳・五十歳代の仕事に精通している人たちの知恵をソフト化、プログラム化して、本来のコンピュータの使い方やらなければならない。

肝心な事業に精通している人の「宝の知恵」がコンピュータ化されていないので、SSPの助成金は全国で押すな押すなの人気である。

そういうことを一切抜きにしたコンサルテーションというものを通産省は実施している。

現在は、人材不足に汲々としているが、本当に実利があるものにしていかなければならない。SSP運動を中心にしてIT革命をさらに推進していく。海外連携活動とSSP運動・IT革命を通じて、中小企業自

企業内ベンチャーを行うには新たに人を雇うのではなく、企業内の情報化、海外連携などの構造改革を行い、人を生み出すこと。今まで十人で行ってきたことを九人で行い余剰になった、その一人をベンチャー事業へチャレンジャーさせることが大切であり、自立型企業を目指すべきである。

岐阜県中小企業団体中央会では、十二月十五日に、岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ創立総会をグランヴェール岐山で開催した。レディースクラブは、団体会員八団体、個人会員二十三会員で創立され、総会では会則、事業計画、収支予算、会費額、役員選任など六議案を審議し、それぞれの議案が承認された。

また、同日には「中央会・理事会」、「岐阜県知事と役員との懇談会」も開催した。

女性の英知・感性を

中央レディースクラブを設立

岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブは、中小企業組織活動の展開や地域経済の活性化に女性の持つ斬新な英知と豊かな感性、そしてパワーを注入し、会員相互の連携強化を図ることを目的に設立した。

事業の実施計画は次のとおり。
一、IT研究会事業「情報化



レディースクラブ創立総会

先端技術を取り入れて成功をおさめている企業を視察及び今後のビジネスチャンスに生かす情報通信技術についての研究
二、レディースフォーラム推進事業「レディースシンポジウム開催事業など。
三、交流促進事業「レディース中央会フォーラムへの参加



中央会・理事会

四、福利厚生事業
また、役員等は次の方々が選任された。
顧問「野田聖子(衆議院議員・前郵政大臣)

会長「加藤智子

副会長「玉井博祐、高井美智子、谷田育子、木田雅子、島朋美

理事「山田祥永、森内幸、中島邦子、松原紀子、高田寿美子

監事「久保田美郷、加藤久子



知事と役員との懇談会

補正予算など審議

中央会・理事会

中央会・理事会では、九議案を審議した。議題は、新規加入組合の承認 コンピュータ西暦二〇〇〇年対応 平成十一年度収支補正予算 平成十二年度予算要求概要 中央会レディースクラブ発足 中小企業基本等の改正 中小企業産業廃棄物対策連絡会議の報告 中央会下半年行事日程 知事懇談会の内容等について

審議し、それぞれ承認した。また、最後に役員の情報交換会を行い、業界の現状説明を行った。
平成十一年度収支補正予算では、当初予算額より二千八万二千円を増額し、三億七千二百円の予算額となった。
新規加入会員は十三会員で、総会員数は九百三十二会員となった。

中央会の更なる飛躍を

梶原知事と役員との懇談会

岐阜県知事と役員との懇談会は、梶原拓岐阜県知事をはじめ、新家武彦農林商工部商工局長ら県商工局の関係各課長、中央会の顧問・相談役・参与・中央会役員・レディースクラブ正副会長ら五十六人が出席した。

梶原知事は、首都機能移転の候補地に岐阜が残った。平成十二年からはマスコミでも話題となるよう岐阜県のPR、首都機能移転のPRを行っていく

つもりです。平成十二年の間は、ウエルカム21ぎふを展開し千四百のイベントを県内各地で行い、岐阜県にとつては勝負の節目となります。また、中央会もレディースクラブを設立し、女性の力を活用し、更なる飛躍を期待しています」とあいさつした。
または、梶原知事、新家局長を囲んで、懇談した。

海外駐在員レポート

シンセン市で中国初のハイテク見本市

中国で初めて行われるハイテク関連の国際レベル見本市として「第1回中国国際高科技(ハイテク)成果交易会」が、10月5日から10月10日まで広東省深セン市で開催された。同交易会を視察する機会を得たので概要について報告する。



岐阜県香港駐在員
野原 英一

ハイテク交易会

交易会には、中国内から31の省・市・自治区・直轄市と大連・廈門など5つの計画単列都市が参加し、国外からは米国、ドイツ、日本、韓国、シンガポールなど27の国と地域の企業・団体が出展し、展示企業・機関の総数は2,856に達した。

同交易会は、中国国内の有力情報技術(IT)企業が一堂に会することも多く多くの注目を集め、初日の入場者数は10万人を突破するなど最終日まで会場は活況を呈した。

主催者側の統計によると、会期中の成約プロジェクト数は1,459件、成約総額は約65億米ドルに達し、うちハイテクプロジェクトは1,030件で、42億7,800万米ドル、全体の65.9%を占めた。そのほかの成約プロジェクトは429件で、22億1,600万米ドルだった。

成約プロジェクトのうち、外資による投資事業が198件、成約額は18億2,900万米ドルに達し、それぞれ全体の19.22%、28.16%を占めた。また成約額のうち、輸出は7億7,900万米ドル、輸入は10億5,500万米ドル。輸出入成約総額のうち、ハイテクとその製品の輸出額は6億9,200万米ドル、輸入は10億4千万米ドルに達した。

深セン市の李子彬市町は閉幕式で「今回のハイテク交易会は大きな成果を獲得した」と述べたが、数字に表れた成果からも今回の交易会は成功であったと思われる。

多い中国参加企業

10月7日昼頃に会場を視察した。会場は深セン市羅湖駅からタクシーで25分程度の距離に位置し、付近にテーマパークが並ぶ美観地域にある。交易会場は3つのホールからなる巨大コンベンション施設で、ホールA、B、Cに分かれ、それぞれ11,000㎡、10,000㎡、2,200㎡の面積を有する巨大展覧会場である。

会場内の出展ブースを占めていたのはほとんど中国国内企業であった。ホールAには、マイクロソフト、AMD、IBM、パナソニック、富士通、エ

プソン、サンヨーなどの多国籍企業の出展ブースがあり注目を集めていたが、半導体やコンピュータソフトウェアなどの分野で世界的に有名ないくつかの企業のブースが存在しなかった。「国際ハイテク」というには、知名度の高い企業の参加数という点では今一歩であったともいえるが、逆に言えばそれだけハイテク分野の中国企業が多くなってきているという事実を実感することができた。

進むハイテク技術

出展企業の分野については、コンピュータや家電関連のみでなく、医療、農業など多岐にわたっていた。様々な分野で中国企業の技術レベルの底上げが進んでいることが感じられた。

会場内は人で溢れ変えるほど盛況であったが、およそバイヤーとは無関係の子供の姿を見かけたり、会場内で写真撮影する人がいるなど、来場者が見本市に慣れていない側面も見受けられた。また、視察したのが会期中の日だったこともあってか外国人バイヤーの姿も少なかった。

このハイテク見本市は来年以降も毎年深セン市で開催されることが決まっている。中国企業のレベルも年々向上しており、中国国内でのハイテク分野での合弁先を探すための見本市の一つとして今後の活用が期待できると思われた。



ハイテク見本市

底を探る景況続く

消費低迷が強まる見通し

11月景況調査

業種別では住宅建築関係の堅調、公共工事の進捗による売上が見られるが小売等の流通・消費物資関係は前月比売上減で業況悪化となっている。全般的に、需要不足、低価格、過当競争が続いており、前月まで改善傾向であった収益状況が再び悪化傾向となることが懸念される。

中央会が主要業種八十五組合を対象にまとめた「十一月の特色」と「二月までの景況の見通し」は次のとおり。「十一月の特色」組合から見た県内中小企業の特徴は、景況感停滞、消費関心の冷え込みが続く、収益状況、資金繰りの悪化が強まる、となっている。十一月の景況感DI値は、前月比横這いのマイナス23ポイントとなっており、景況が調整局面にあると言える。当月は、前月比売上の増加傾向は大きく後退したが、景況感は横這い状況

「二月までの見通し」二月までの景況動向予想は、DI値マイナス23ポイントで、当月実績と同数値の横這い予想。堅調な住宅建築関係の伸びが止まるとの予想と、消費需要関連の低迷が強まる予想で、明るい材料が見られない状況にある。

県内中小企業主要業種の景況動向 (12月調査、11月実績)

表の見方：売上～景況感：好転・増加 変わらず 悪化・減少

調査項目 業種	売上	受注	収益状況	景況感	見通し
味噌・醤油・油 豆腐製(子 肉(国産)菓 食(米)造 米(米)造 酒(米)造 米(米)造 ね(米)造 織物染糸 繊維工業 毛織物 合成繊維 靴アパレル メンス・子供 婦人縫製					
製銘集家東 具(飛騨) 具(濃 濃(ひの					
紙紙工 庭殊加 特紙印					

調査項目 業種	売上	受注	収益状況	景況感	見通し
プラスチック					
陶磁器(工業)					
陶磁器(輸出)					
モザイクタイル					
窯業原料					
耐火レンガ					
石灰					
生コ					
砂利生産					
砕石生産					
鋳物					
刃物等金属製品(輸出)					
刃物等金属製品(内需)					
メッキ					
機械金					
金型					
機械工具・工作機械					
電気機械器具					
輸送機器					
各種物産品(観光)					
各種物産品(ギフト)					
陶磁器					
総合卸売業					
青水産物					
家電機器販売					
メガネ販売					
中古自動車販売					

調査項目 業種	売上	受注	収益状況	景況感	見通し
石油製品販売					
共同店					
岐阜市商店街					
大垣市商店街					
多治見市商店街					
恵那市商店街					
高山市商店街					
車体整備					
タイヤ整備					
長良川畔旅館					
下呂温泉旅館					
高山旅館					
クニニ					
広告美術					
情報サービス					
映像制作					
飲食業					
土木(岐阜)					
土木(飛騨)					
木造建築					
鋼構造					
電気工事					
管設備工事					
建築板金					
建築器具					
住宅					
貨物運送(岐阜地区)					
貨物運送(県域)					

◆女性部及び女性経営者支援懇談会

東濃会場 2月23日(水)どんぶり会館
岐阜会場 2月24日(木)県民ふれあい会館

二会場とも午後1時30分より

岐陶工連の十五組合が各会場で開催した新春見本市



美濃焼の新春見本市

15組合が相次ぎ新作を展示

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会(宮地吾郎理事長)傘下の十五組合が、一月七日(十四日まで)、多治見市・土岐市・瑞浪市の各会場で恒例の『新春見本市』を開催した。

見本市は各組合とも二日間開催し、所属組合員が和・洋食器、花器、茶器などの新作を展示し、商社や卸売業者などに披露し、美濃焼のPRとともに、商談を行うことを目的に開催した。

七日からは、駄知、土岐津西

部がセラトピア土岐、瑞浪が瑞浪市総合文化センター、恵那が瑞浪市産業振興センターで開催。八・九日と十一日・十二日は、伝産が美濃焼伝統産業会館・セラトピア土岐で開催。十一日からは肥田、泉陶がセラトピア土岐で開催。十二日からは

笠原、滝呂、市之倉、高田、多治見が多治見美濃焼卸センターで五組合合同開催。十三日からは、土岐津、下石、妻木がセラトピア土岐で開催した。

展示品は、各組合員企業が研究開発したオリジナル商品を展示、差別化に力を注ぎ、个性的な意匠・色使いなどが見られ、技術力と企画力を卸業者にPRし、各会場の各所で商談が行われた。

ぎふ企業コンベンション

フォーラム二〇〇〇のご案内

長良川国際会議場が主催する『ぎふ企業コンベンション

フォーラム二〇〇〇』が二月九日、長良川国際会議場で開催さ

れる。

同フォーラムは、「企業コンベンション」をテーマに、地元企業団体関係者を対象に、企業等の開催する記念式典、社員研修、販売促進会議などを企業コンベンションと位置づけ、コミュニケーションとモチベーションの喚起を目的としている。

事業内容は、コンベンション講演として、「人が集えばコンベンション」会議モーション

県関係部局へ陳情

県建設関連業団体部会

中央会と岐阜県建設関連業団体部会は、十一月二十六日に開催した官公需フォーラムで要望、十二月十三日に県の関係部局へ陳情した。

陳情は、本部会顧問の猫田孝・中村慈県議の先導で、戸島一博部会長ら十一人と森本専務理事が行った。陳情先は、教育委員会の日比治男教育長、基盤整備部の小島秀俊参与兼建設管理局長、経営管理部の高橋新蔵部長へ陳情書を手渡した。県の各対応者も部局に係のある陳情内容については、実現に向け

タイプも」をテーマに、国際観光振興会の佐藤哲哉海外誘致部長が講演。メイントークは、「企業メッセージの在り方について」をテーマに、(株)高山ランドの中田金太社長と月刊・岐阜人の三田村圭造編集長がトークを行うほか、国際会議場の施設説明が行われる。

参加希望者は、長良川国際会議場・企画業務課(電話〇五八二九六 一二〇〇、FAX〇五八二九六 一二二〇)まで。



県関係部局への陳情

て検討していく」と回答があった。

ウエルカム21ぎふ

ふるさとぎふ回顧と展望

『ウエルカム21ぎふ』は、21世紀を明るく展望するため、ふるさとぎふ「回顧と展望」をテーマに二百十万人、九十九市町村、県が一緒になって開催するイベントです。二〇〇〇年には、一年を通じて、一四〇〇を超えるイベントを集積し、全県を舞台に展開します。

21世紀型の新しい形のイベント開催をめざし、五つのシンボルイベントを含む県イベントと各圏域・市町村が自主自立の熱意で

開催する五圏域イベントにより構成しています。
シンボルイベントは岐阜市の世界イベント村ぎふ(WEC)を中心に、地球家族をテーマとした次のイベントが開催されます。

- オープニングイベント(一月〜二月) 子ども未来博2000(七月二十九日)八月二十七日(八月二十一日)ハロージャパン・ハロ21・インぎふ(八月二十六日・二十七日) & WECスーパードライクス八月) GIFFUストリート・カー

二ハル2000(九月二十三日〜十月二十二日) クロージンイベント(十二月)

五圏域イベントは岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨の五つの圏域で、圏域メインイベントを中心に、地域の特徴を生かした約一千七十のイベントを開催します。

岐阜圏域は「テーマ、ファッション文化」ハイタッチな地域創造「一ハル」イベント。

GIFFUファッションウォーク2000(仮称)(十月八日・九日、岐阜市中心市街地)

西濃圏域は「テーマ、歴史との出逢い、東西の出逢い」二二二イベント。

関ヶ原合戦四百年祭(十月七日〜十五日、大垣市・関ヶ原町・垂井町・上石津町・墨俣町)

テレビ特別番組「天下分け目の関ヶ原」制作放映

「決戦関ヶ原」大垣博(三月二十五日)十月九日)

中濃圏域は「テーマ、公園文化」二四一イベント。

森の公園「フォレストパーク中濃」五月三日・四日、21世紀の森の公園「板取村」

水の公園「アクアパーク郡上」(八月五日・六日、日本真ん真ん中センター・美並村他)

花の公園「フェスティバル2000」(五月十三日・十四日、花

エスタ記念公園・可児市)

東濃圏域は「テーマ、出会い、技・人・道」二三五イベント。

東濃カブキまつり2000・食と器の祭典2000(五月二十六日)二十八日、東美濃ふれあいセンター・中津川市)

飛騨圏域は「テーマ、自然との共生から生まれる新たな飛騨文化の発信」三〇三イベント

健康産業メッセ&ヘルシー味フェスティバル(仮称)(十月二十七日)二十九日、下呂観光会館)

冬の飛騨民族文化・雪と氷の祭典(二月十一日)十四日、高山市・朝日村・河合村他)

タウンマネージメント実践セミナー

タウンマネージメント推進協議会及び日本商工会議所・全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会等が共催する「タウンマネージメント実践セミナー」が二月二十二日から二十四日(二泊三日)、愛知県労働者研修センター(瀬戸市)で開催されます。

内容は、「中心市街地活性化の施策」「事例研究発表」「現地視察」などが行われます。

参加費は四万七千円(内、宿泊費・食事一万七千円)。申込み及び問い合わせは、タウンマネージメント実践セミナー事務局(電話〇三三・五二八三三三)まで。

Uターンフォーラムinぎふ

岐阜県は、県外大学に在学する岐阜県出身者の大学三年生、短大一年生等を対象に、岐阜県への定着及びUターン就職を对象に「Uターンフォーラムinぎふ」を二月十八日、県民文化ホール未来会館で開催します。

内容は、第一部「岐阜県からのメッセージ」、第二部は基調講演「就職とこれからのキャリア形成」、「パネルディスカッション」を行い、実践的就職活動のノウハウの講演などを通じて伝授します。

新卒者の採用拡大 労働大臣による緊急要請

牧野隆守労働大臣より、雇用に關する新規学卒者の採用枠の拡大につき全国中央会に対し協力要請があり、全国中央会から岐阜県中央会の会員等に対し周知及び積極的な働きかけの依頼があった。要請の趣旨は、大学、高校の就職内定率が過去最低を記録していること、特に高校については九月末現在の内定者が五

人に二人という厳しい状況と なっていることから、一層の採用枠の拡大をしてもらいたいこと、また、未就職の既卒者に対しても、新卒者同様十分な就職の機会確保をお願いしたい。 については、要請の趣旨を貴組合の傘下会員企業等に対し周知する依頼があり、組合員の皆さんも、この趣旨をご理解いただきご配慮をお願いします。

◆決戦関ヶ原大垣博・会期：3月25日(火)〜10月9日(月)、会場：大垣公園一帯(大垣城など)

事務局だより

- 管理調整チーム
- 組織指導チーム
- 広報振興チーム
- 情報企画チーム
- 調査労働チーム
- 東濃支所、飛騨支所

中小企業基本法及び

団体法の一部改正

昨年第一四六回臨時国会において、中小企業関係の法律の多くが成立しました。このうち政府における中小企業政策の理念の大きな変更や中小企業の範囲の拡大が行われた「中小企業基本法の一部を改正する法律」が平成十一年十二月三日に公布・施行されました。

また、組合から会社への組織変更が可能となる「中小企業団体の組織に関する法律(団体法)の一部改正」が平成十二年十二月二十二日に公布され、三カ月以内に施行されることとなりました。

詳細については、組合活性化情報・冬季号に掲載予定。



あけまして

おめでどう

うございます

昨年、本会の事業にご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

本年も、昨年と同様によりしくお願い申し上げます。また、本紙に多くの年賀広告をいただきありがとうございます。

(役員一同)

新年賀



輝く新春を迎え皆々様のご健康とご多幸をお祈りいたします

2000年元旦

岐阜県中小企業団体中央会

- | | | | |
|------|----|-----|----|
| 会長 | 辻本 | 右衛門 | 正門 |
| 副会長 | 岡本 | 地吾 | 郎博 |
| " | 宮地 | 野一 | 朗喜 |
| " | 戸野 | 本直 | 彦彦 |
| " | 関河 | 田安 | 男男 |
| 専務理事 | 森石 | 森石 | |
| 専務局長 | 森石 | 森石 | |
| | 森石 | 森石 | |

〒500-8384 岐阜市南5丁目14番53号
 岐阜県民ふれあい会館内
 TEL 058-277-1100
 FAX 058-273-3930

十月中

- 1日 経済協力シンポジウム・岐阜フォーラム(岐阜グラシドホテル)
- 2日 21世紀フォーラム(多治見市文化会館)
- 3日 岐阜県雇用安定創出対策協議会(グランヴェール岐阜)
- 4日 カジュアルライフフェスティバル(未来会館)
- 7日 岐阜県企業リサイクルフォーラム(県民ふれあい会館)
- 8日、9日 中央官公需問題懇

談会(全国中央会)

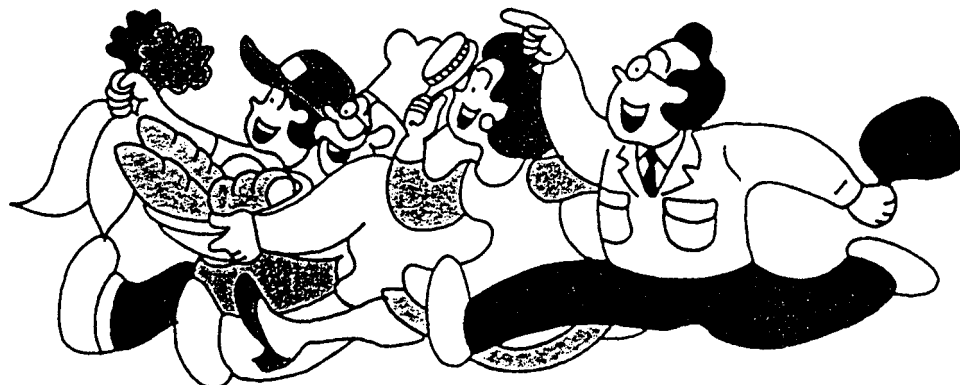
- 9日 融合化組合・異業種グループ東海北陸ブロック交流会(三重県)
- 14日 ベンチャー出合いの場
- (岐阜県ランドホテル)
- 15日 中央会レディースクラブ創立総会(グランヴェール岐阜)
- 中央会・理事会(同)



岐阜県知事と役員との懇談会(同)

- 16日 「ふるさと岐阜」首都圏文化・経済交流会(ラピロス六本木)
- 20日 官公需適格組合審査顧問委員会(中部通商産業局)
- 中小企業マルチメディア支援調査研究事業第3回委員会(全国中央会)
- 22日 第2回組合活性化情報編集委員会(県民ふれあい会館)

安心へ、今日からスタート!



小規模企業共済制度が 変わります。

(平成12年4月から実施)

改正の内容

- ・ 共済金等の見直し
- ・ 共済金の新たな支給方法の追加
(一時払いと分割払いの併用)
- ・ 新たな契約者貸付制度の創設
(新規事業展開等貸付・福祉対応貸付)
(平成11年5月から実施)
- ・ 既存の契約者貸付制度の拡充
(平成11年5月以降順次実施)

制度の特色

- ・ 掛金は金額所得控除
- ・ 共済金は一時払い又は分割払い
- ・ 共済金は退職所得扱い
又は公的年金等の雑所得扱い
- ・ 貸付制度

お問い合わせはTEL.03-3433-7171

事業主の退職金制度

小規模企業共済

(この制度は、小規模企業共済法(昭和40年 法律第102号)に基づいたもので、政府が全額出資している中小企業総合事業団が運営しています。)

「小規模企業共済制度」とは小規模企業の個人事業主又は会社等の役員の方が廃業・退職された場合、その後の生活の安定あるいは事業の再建などのための資金をあらかじめ準備しておく共済制度で、いわば「事業主の退職金制度」といえるものです。

テレホンサービス

東京 (03)3432-1199
大阪 (06)6940-3741

中小企業総合事業団

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
共済相談室 ☎ 03 3433-7171 URL <http://www.jsbc.go.jp/>

問い合わせは 岐阜県中小企業団体中央会 TEL058-277-1101